３月 保育所だより

平成 30 年 3 月号

北部保育所
TEL 0853-68-0106
090-5706-2898

先日の散歩で、桜のつぼみが膨らんでいることに気がつき、「もうすぐ春だね～」「もうすぐ一年生！」と話をしながら、頬をなでる冷たい風も気持ち良く歩きました。

この一年間、子どもたちは毎日の生活や遊びを通して、様々な経験から心と体が大きく成長しました。自分の思いを伝えたり、友だちの意見を聞き入れたり、時には状況から相手の気持ちを察して玩具や順番を譲ったりする姿が見られます。優しくしたりしてもらったりする家庭的な雰囲気の中で、異年齢それぞれの育ちにつながっていることを感じます。

今年度もあと一か月となりました。自分が成長したという喜びを感じ、入学や進級への期待が持てるように保育を行っていきたいと思います。

最後になりましたが、一年間保護者の皆様をはじめ、地域の皆様にたくさんのご支援、ご協力をいただきまして、職員一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2/27 がんばった「なわとび大会！」 最高記録500回

３月の行事予定

１日（木）坂浦町へ行こう（佐香っ子デー）★
２日（金）誕生会・ひなまつり会（コンサート）★
〃　保育所開放日・だんだんクラブ
６日（火）身体測定
９日（金）ふじ組親子お別れ会
１１日（日）清掃奉仕（8:30～）　保護者会役員会
１３日（火）集金日
１４日（水）弁当の日
１５日（木）お別れパーティー
２０日（火）北部子育て応援倶楽部
２１日（水）（祝）春分の日
２３日（金）修了児半日保育（12:30 降所）
２４日（土）平成２９年度修了式
２８日（水）給食終了　布団、外ズック他持ち帰り
２９日（木）
３０日（金）　希望保育
３１日（土）希望土曜共同保育
＊避難訓練（予告なし）★ミニ保育参加の日

4月の主な行事

２日（月）平成３０年度保育開始
５日（木）入所のつどい

お知らせ・お願い

坂浦町に行こう（1日）

２～５歳児は、天気が良ければ歩いて立石神社にお参りします。子どもたちの姿を見かけられましたら、気軽に声をかけてください。

ひなまつり会・保育所開放日・だんだんクラブ（2日）

フルートやヴァイオリン、ファゴットの演奏を１０時２０分から保育所開放日親子の方や、だんだんクラブ、佐香地区高齢者の方（佐香コミセン共催）と一緒に聴きます。保護者、祖父母の方も一緒に生の音楽を楽しみませんか。お待ちしております。

集金について（13日）

今月は年度末のため、用品代も含めて集金させていただきます。

平成29年度修了式について（24日）

修了児とその保護者の方、２～４歳児、職員が出席してお祝いをしたいと思います。（詳細については改めてご案内を差し上げます。）なお、２３日は修了式準備のため、修了児は１２時３０分の降所とさせていただきます。ご協力よろしくお願いします。

希望保育について（29・30・31日）

来年度の準備のため希望保育とさせていただきます。ご都合もあろうかと存じますが、ご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いします。詳しくは後日お便りします。

＊ご寄贈ありがとうございました

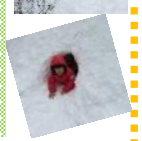
花団子～地域の方　折り紙（傘）～地域の方
みかん～地域の方　菓子～地域の方
お雛様供え物～地域の方
絵本多数～佐香自治協会様

○保育目標　～　就学、進級に期待を持とう

一年を振り返り、元気で心も体も大きく成長したことを喜び合いたいと思います。進級する保育室で遊んだり、給食を食べたりし、４月からの新しい生活へ期待が膨らむようにしていきます。

○生活目標　～　物を大切にし、身の回りの整理整頓をしよう

今まで使った絵本や玩具を子どもと点検し、丁寧な扱い方を知らせたいと思います。また、自分のロッカーを片づけたり、毎日遊んだ保育室や遊戯室、所庭を掃除したりして、感謝の気持ちが持てるようにします。



３月生まれのお友だち

おたんじょうびおめでとう！

さとう　じんせいさん（６さい）

＊子育てエール＊

「子どもには、親といると安心・楽しいという経験が大切です」

友だちとうまくつき合えない、友だちとつき合うと疲れる、友だち同士のトラブルに巻きこまれて悩んでいるというような、人間関係の問題に苦しむ子どもたちが多くなりました。

子育てにおいて、私が真っ先に申し上げたいのは、親が子どもに、「人と一緒にいて楽しかったという思い」を、できるだけ数多く体験させてあげることが大切だということです。

友だちがいたから、一人で遊ぶよりずっと楽しい遊びができた、友だちがいたからこんなに楽しかったという経験を、三歳、五歳でもいい、幼い頃から持ったほうがいいと思います。

ただ、それには順番があります。まず子どもは、「お母さんと一緒だったから安心していられる、お母さんと一緒だったから楽しかった」という経験から、「お母さん以外の人とも一緒にいて楽しかった」という経験につながっていきます。

そのつながりは、隣のおじさんやお向かいのおばさんとも一緒にいて面白かった、幸せだった、安心だったという経験から、だんだんに友だちと一緒だから、友だちと一緒に何かをしたから（いなかったときより）ずっと楽しかった、面白かった。だから、今日はもう暗くなったから帰るけれど、「また明日もね」という生活につながっていくわけです。（中略）

祖父母や近所のおじさん・おばさんも、親とは違った喜びを与えてくれます。けれどもどうしても親に取って代わることはできません。親と一緒にいるときに一番安心できて喜びを感じていたいというのは、子どものもっとも根源的な欲求なのですから。

その安心と喜びのうえに祖父母がいて、隣やお向かい、親戚の人がいて、そのうえで友だちとの関係があります。

（児童精神科医　佐々木正美著　「子どもを伸ばすかわいがり子育て」より抜粋）

育児は、楽しかったり苦しかったりの毎日の積み重ねです。「安らぎやくつろぎ」を短時間でも、親子で感じていきたいですね。これからも保育所は、親子のほっとできる場所として、応援させていただきます！

今年は大雪が続き、かまくらや雪だるまを作ったり、雪滑りをしたりして思いきり遊びました。

職員出張
５日　食育推進研修会　　高橋